

# 左京はあとふるプラン

## ニュースレター第15号



平成28年3月発行／京都市左京区役所地域力推進室

左京区役所では、平成23年度からの10年間のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画)が目指す「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ」まちづくりを進めています。このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

今年度は「左京はあとふるプラン」が中間年である5年目を迎えたため、京都市次代の左京まちづくり会議では、アンケートやワークショップを通じて、幅広く区民の皆様からのご意見を伺った結果を、今後の取組に活かしていくことについて議論を進めてきました。

### 左京はあとふるプラン（左京区基本計画第2期）中間点検の流れ

26年度

点検方法  
の検討

10月 8日 第2回 京都市次代の左京まちづくり会議

11月10日 第3回 京都市次代の左京まちづくり会議

5月20日 第1回 京都市次代の左京まちづくり会議

意見  
聴取

区民（無作為抽出）アンケート  
15の分野に関する達成度等  
の実感を調査  
対象者数：1,000名  
回収率：31.8%

地域の代表者（市政協力委員連絡協議  
会会長等）に対するアンケート  
地域での取組状況を把握  
配布件数：335件  
回収率：44.1%

「京都市次代の  
左京まちづくり  
会議委員」への  
アンケート

区内でまちづくり活動に取り組んでいる方への意見  
聴取（ワークショップ）  
「左京区まちづくり活動支援交付金」交付団体や「左  
京朝カフェ」参加者等（30名）

27年度

意見の  
分析・検討

10月14日  
第2回 京都市次代の左京まちづくり会議

11月16日  
第3回 京都市次代の  
左京まちづくり会議



「区民が活躍する」取組、「区民の活躍を引き出す」取組の推進

重点方針  
への反映

北部地域への  
移住者や交流  
人口を増やす



“ほんまも  
ん”を楽しむ  
文化を育てる



若者が活躍す  
る仕組みをつ  
くる



地域での顔の  
見える関係を  
築く



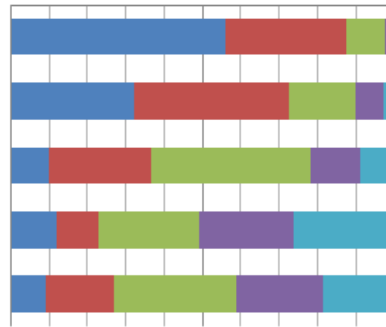
## 区民の皆様からいただいたご意見のまとめ（アンケート結果）

平成27年7～8月にかけて実施した区民アンケートにおいて、左京区全体もしくは回答者自身がお住いの地域、回答者ご自身について、現在の実感をお聞きました。回答結果の中で、特徴的な部分をご紹介します。

### 美しい自然のまちづくり

- 左京区の豊かな自然を大切に、楽しんでいる
- 地域ぐるみの美化活動が熱心に行われている
- 歩きやすいまちづくりが進んでいる
- 左京区北部山間地域等の農林業や自然に親しみ、交流する機会がある
- 災害時に備えた非常物品の準備や防災訓練への参加に取り組んでいる

0% 50% 100%



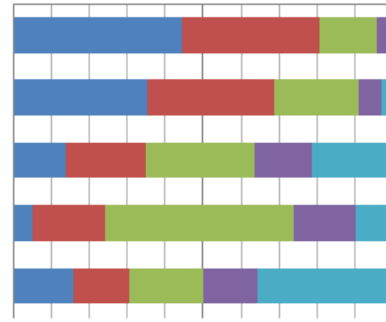
■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらともいえない  
■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

「左京区の豊かな自然を大切に、楽しんでいる」を「そう思う」、「どちらかというと思う」とした人は全体の9割近くに上りました。また、まちの美化に関する項目は、個人の意識のみならず地域や区全体の取組も進んでいるという実感が表れました。一方、歩きやすいまちや北部山間地域と都市部との交流、防災対策に関しては進んでいないという実感が多く寄せられました。

### 歴史・文化・学問のまちづくり

- 歴史や文化を大切にしている
- 文化・芸術に触れる機会が多い
- 地域の伝統行事に参加している
- 伝統行事の継承に向けた担い手の育成や資材の確保が進んでいる
- 近隣の大学に通う学生と交流がある

0% 50% 100%

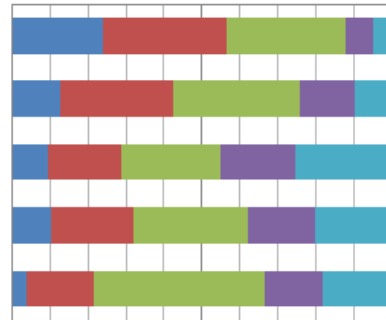


「歴史や文化を大切にしている」、「文化・芸術を楽しんでいる」「文化・芸術に触れる機会が多い」についての実感が高かった一方で、「地域の伝統行事への参加」、「伝統行事に向けた担い手の育成や資材の確保」や大学のまちに関する項目については比較的评价が低くなりました。ただ、全体としては、他の目標と比べて各項目の評価が高い傾向が見られました。

### ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

- 子どもの見守り活動など、子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる
- 近所付き合いが活発で、高齢者が孤立していない
- 地域活動に参加している
- 長く住んでいる人、新しく転居してきた人、外国から来た人など地域の多様な人と交流がある
- 区内の他の地域について知ったり、交流したりする機会がある

0% 50% 100%



全体として、他の目標と比べて進んでいないという実感が多く、中でも地域活動への参加や多様な人や他地域との交流に関しては評価が低く表れました。ただ、子どもに関する項目については取組が進んでいるという実感が比較的高いという特徴が見られました。

### 年齢別・地域別にみた主な傾向

#### 年齢別

- 『美しい自然のまちづくり』では、多くの項目で年齢が高いほど評価が高くなる傾向が見られました。
- 『ひとにやさしいぬくもりのまちづくり』の「地域活動に参加している」については、20～40歳代の「そう思わない」「どちらかというと思わない」の割合が半数以上と突出して高くなりました。

#### 地域別

- 『美しい自然のまちづくり』の「歩きやすいまち」では、中部南地域で「歩きやすいまちづくりが進んでいる」という実感が低くなりました。また「防災・消防」でも中部地域特に中部南地域の実感が低く表れました。
- 『歴史・文化・学問のまちづくり』の「伝統行事」では、北部地域で参加する人の割合が多く、継承も進んでいるという実感が高くなりました。また、「文化・芸術」では、岡崎などの文化エリアのある南部で「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高くなりました。
- 『ひとにやさしいぬくもりのまちづくり』の「子ども」では、北部地域での子どもへの積極的な関わりが伺える結果となりました。また、地域活動への参加は北部地域で突出して多くなりましたが、その他の地域では大きな違いは見られませんでした。

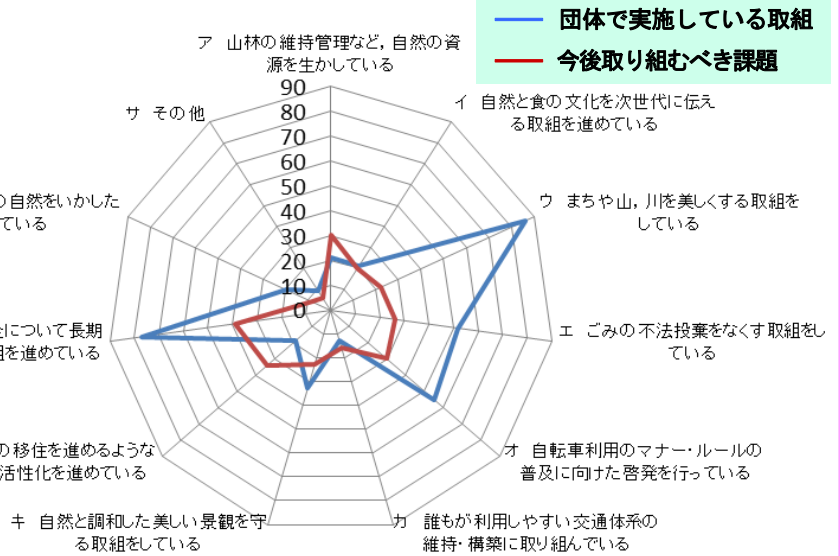
※北部地域 …… 花脊・別所・広河原・久多・八瀬・大原・静原・市原野・鞍馬  
※中部北地域 … 上高野・松ヶ崎・岩倉北・岩倉明德・岩倉南  
※中部南地域 … 北白川・養正・養徳・下鴨・葵・修学院・修学院第二  
※南部地域 …… 川東・吉田・岡崎・聖護院・錦林東山・浄楽・新洞

## 地域等の団体の代表へのアンケートでいただいたご意見のまとめ

### 美しい自然のまちづくり

項目「ケ」の「防災・安全」が一番の課題として考えられています。実施している取組でも2番目に多く、取組は実施されているが課題も多くあると実感されていることが分かります。

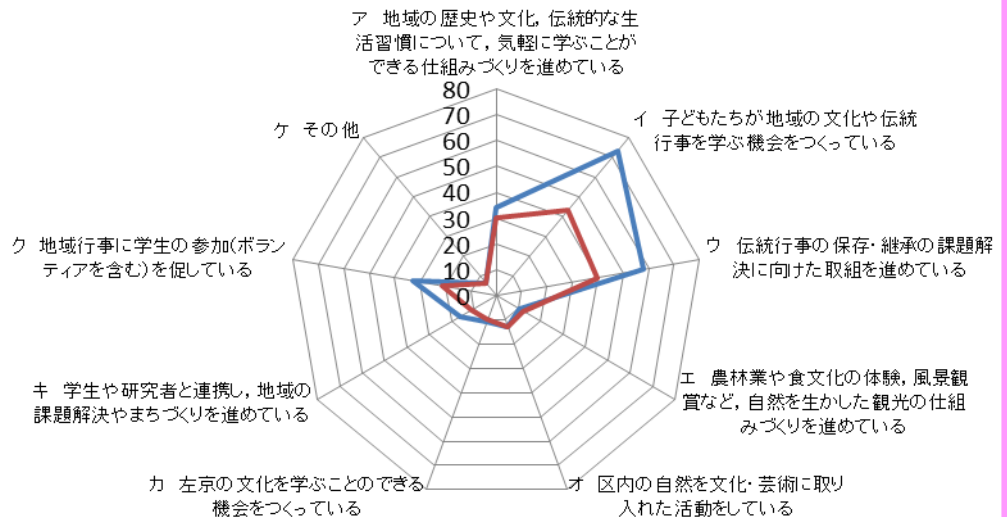
「ア」「ク」の課題意識も高く、北部地域の高齢化・過疎化に対する危機感と若い世代の移住促進に向けた取組の必要性に多くの方が関心を寄せていました。



### 歴史・文化・学問のまちづくり

今後の課題と考えられている上位3つは全て実施している取組としても上位であり、取組は実施されているが、課題も多くあると実感されていることが分かります。

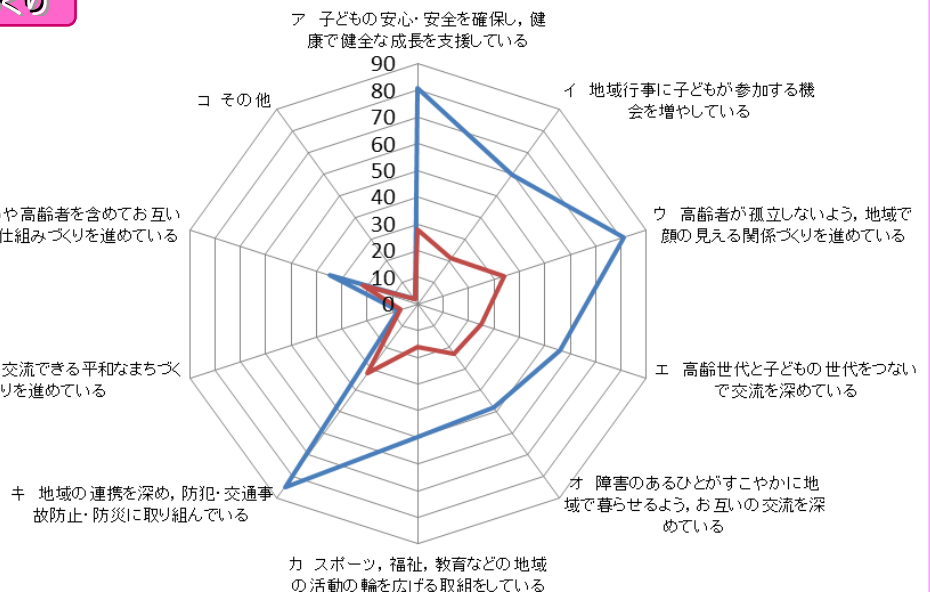
特に、伝統行事の次世代への継承の取組の継続やその方法の検討の必要性が強く実感されており、小学校や保護者だけでなく、地域みんなを取り組める仕組みが必要との意見もありました。



### ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

項目「ア」「ウ」「キ」が実施している取組の上位3つですが、今後の課題としても強く意識されています。

高齢者や子どもに対する見守り活動や、声かけ運動、地域で顔の見える関係づくりが重要と考えられており、地域の連携により安心・安全の確保をより具体的に検討する必要があると考えられています。



注) 表中の数字は、回答数を示しています。



# 平成27年度第2回・第3回京都市次代の左京まちづくり会議における主なご意見

- 第2回会議から**
- 生産年齢人口の減少が深刻である。地域をどうコンパクトにまとめるかが大事。
  - 皆が常識的な考え方を変えないといけない。アートや人のつながり、自然などの価値を認めることが必要。
  - 全体的に年齢層で感覚が違う。若者と年配者の間の世代で牽引する人がでてくればよいと思う。
  - 高齢者が経験を若者に引き継いで地域性を活かした取組を進められたらよい。
  - 左京区にクリエイティブな若者が集まり、付加価値の高い業種で働けるような環境整備を進めたい。
  - 防災意識を高めないと左京はあとふるプランは進んでいかないのではないかなと思う。
  - 区民の活躍を引き出す視点で今後の取組を進めるべき。

- 第3回会議から**
- 子どもたちがまちや生活の中で役割を持ち、地域の伝統を学ぶことが重要。
  - 獣害によって自然の荒廃が進んでいる。山に人が入って適切に管理する必要がある。  
鹿の害については、防除するだけでなく、地域資源としてうまく活用したい。
  - 北部地域の自然の素晴らしさ、文化に裏打ちされた自然の価値を発信していきたい。
  - SNSなど若者のネットワークを活用して北部山間地域のファンクラブを作ってはどうか。
  - 隣近所と気楽に声掛けのできる関係になるには、地藏盆など子どもが集まるイベントや町内でのハザードマップ作りが有効ではないか。







## 左京はあとふるプランの後期重点方針

### 左京はあとふるプランの3つの目標

	美しい自然のまちづくり	歴史・文化・学問のまちづくり	ひとにやさしいぬくもりのまちづくり
目指す姿	自然を愛で、地球環境に配慮したエコライフを実践する左京	歴史や文化を気軽に学び、楽しみ、多彩な交流を育む左京	すべてのひとが互いを認め合い、支え合う温かいところを持つ左京
中間点検で表れた今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地域の活性化</li> <li>・山林や農地の維持管理・活用</li> <li>・防災対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史・文化・伝統行事の継承</li> <li>・大学・学生と地域との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔の見える関係づくり</li> <li>・地域内の連携</li> <li>・高齢者や障害者の地域参加</li> </ul>

### 後期重点方針(平成28年度～32年度)

	北部地域への移住者や交流人口を増やす	“ほんまもん”を楽しむ文化を育てる	若者が活躍する仕組みをつくる	地域での顔の見える関係を築く
今後の方向性	北部地域の特性を活かした <b>付加価値の高い仕事づくりと古民家(空き家)の活用</b> 	ほんまもん(土地のもん、旬のもん、伝統的なもん、美しいもん、こだわりのもんなど)の <b>価値を認め、生活に取り入れる</b> 	大学のまち・左京に集う学生が、在学中や卒業後にその <b>能力や感性を地域社会で発揮</b> できるクリエイティブで付加価値の高い仕事を創出する 	防災や健康づくり、見守り活動、伝統の継承等を通じた <b>多世代、新旧住民、多文化、障害をもつ人・もたない人の交流</b> による地域コミュニティの強化とすべての人がいきいきと暮らせる地域社会の実現 
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を活かしたアート体験やグリーンツーリズムの推進</li> <li>・農業の6次産業化(新商品開発, 加工施設整備, 販路開拓等)</li> <li>・空き家の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食や雑貨など普段の生活の中にも“ほんまもん”を取り入れることを「左京らしい」価値として発信</li> <li>・文化の担い手としての区民の活躍を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内企業等と連携した若者の能力や感性を活かせる仕事づくり</li> <li>・地域福祉や地域活性化などのソーシャルビジネスの振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民主体の防災対策や安心安全の取組の推進</li> <li>・高齢者の知恵や技、地域の伝統を若い世代へ継承</li> </ul>

左京はあとふるプランに掲げた取組すべてを確実に実行すべく、  
全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

